

麦の生育状況(12月25日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月5日播種 小麦 (さとのそら)	分けつ期	平年並	生育状況(過去5年間の平均値との比較): (11月5日播種) ●さとのそら 出芽日数は平年並、草丈は平年並、茎数はかなり少なかった。 主稈葉数から推定した生育は平年並だった。 ●カシムギ 出芽日数は平年並、草丈は平年並、茎数はかなり少なかった。 主稈葉数から推定した生育は平年より遅かった。 ●カシマゴール 出芽日数は早く、草丈は低く、茎数はかなり少なかった。 主稈葉数から推定した生育は平年より遅かった。 ●ゆめかおり 出芽日数は12日だった。草丈は12.5cmで、茎数は208本/m ² だった。 12月以降の低温や少雨等により出芽率は52%となり、出芽不良となった。 (11月20日播種) ●さとのそら 出芽は齊一ではなく緩慢に続いており、出芽済の個体の葉数は1葉期から2葉期である。 12月以降の低温や、少雨により出芽が遅れているものと思われる。 ◇気象概況:11月5日～12月25日(過去5年間の平年値との比較) 上記期間の平均気温は8.9℃で、平年(9.1℃)より低かった。降水量は52mmで、平年(120mm)より少なく、11/28以降は1mm以上の降水が記録されていない。日照時間は357時間で、平年(301時間)よりかなり多かった。	【留意事項】 ・「出芽日数」は播種期から出芽期までの日数 ・「出芽期」は出芽可能個体の40～50%が出芽した日 ・「対平年遅速」は、主稈葉数から推定した。
	六条大麦 (カシムギ) (カシマゴール)	分けつ期 分けつ期	遅い 遅い		【今後の管理】 3～4葉期以降、晴天が続く圃場が乾いているときに麦踏みを行う。
	11月11日播種 小麦(ゆめかおり)	分けつ開始期	本年初年度		
	11月20日播種 小麦 (さとのそら)	出芽期	かなり遅い		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	出芽 良否	出芽日数			主稈葉数		
				本 年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
11.5	小麦	さとのそら	やや不良	9	+2	-1	4.0	-1.3	-0.1
		カシムギ	やや不良	11	+2	0	3.4	-1.1	-0.4
	六条大麦	カシマゴール	良	9	0	-1	3.5	-1.6	-0.5
11.11	小麦	ゆめかおり	不良	12	—	—	2.6	—	—
		カシムギ	やや不良	14	—	—	2.4	—	—
	六条大麦	カシマゴール	やや不良	12	—	—	2.6	—	—
11.20	小麦	さとのそら	—	—	14(前年)	13(平年)	—	—	—

播種期 (月・日)	麦種	品種名	草 丈			茎 数			葉色(SPAD値)		
			本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	11.9	106	95	368	56	66	43.2	105	104
		六条大麦	カシムギ	11.2	89	96	470	60	71	46.3	97
	カシマゴール	12.9	86	91	318	65	63	38.7	115	110	
11.11	小麦	ゆめかおり	12.5	—	—	208	—	—	40.7	—	—
		六条大麦	カシムギ	9.1	—	—	213	—	—	40.0	—
	カシマゴール	11.4	—	—	223	—	—	31.3	—	—	
11.20	小麦	さとのそら	—	—	—	—	—	—	—	—	

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑)

2)播種量:0.8kg/a

3)施肥量:N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.6-0.6kg/a

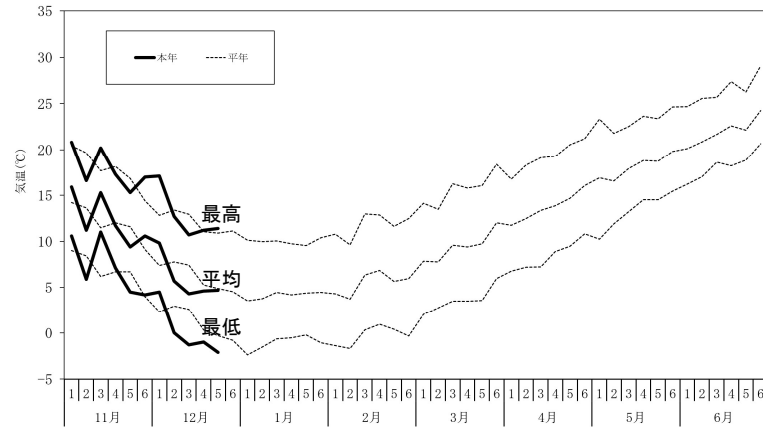
4)播種様式:畦幅30cm、シーダーテープ播種

5)平年値:令和元年～令和5年播種の結果の平均。

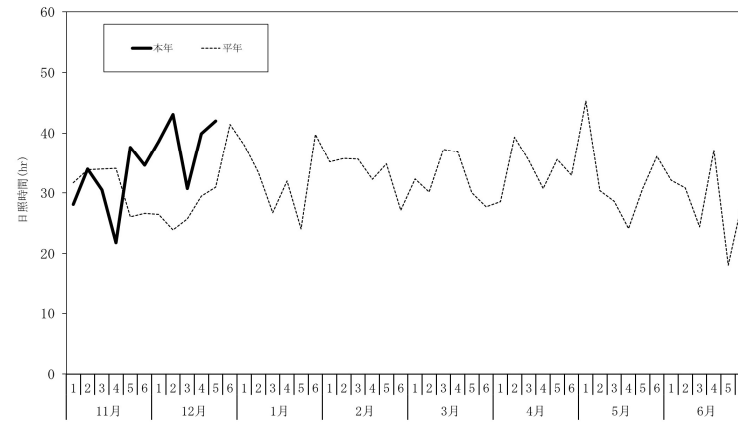
6)麦踏み:12/17(さとのそら晩は除く)

麦(令和6年播種)における半旬別気象経過図
 (水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は過去5年間の平均値)

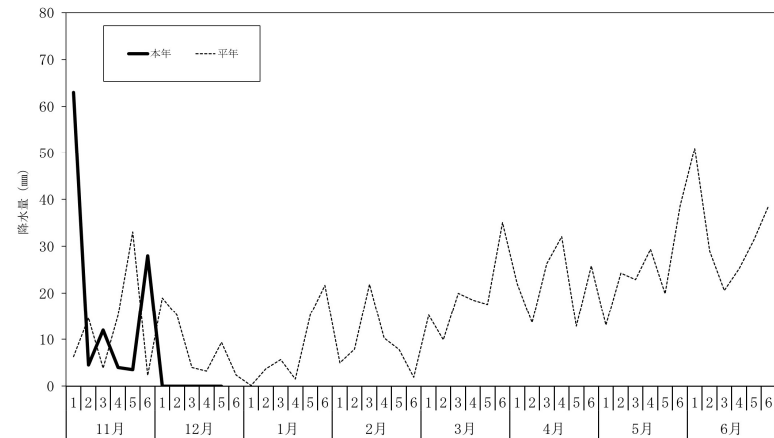
気温



日照時間



降水量





さとのそら(11月5日播種) 12月25日撮影



カシマムギ(11月5日播種) 12月25日撮影



カシマゴール(11月5日播種) 12月25日撮影



ゆめかおり(11月11日) 12月25日撮影



さとのそら(11月20日播種) 12月25日撮影

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

